

今月の



隣に伝えたい

新たな言葉と概念

[RCA]

英 Root Cause Analysis

和 根本原因分析

略 RCA

〈解説〉

RCAとは、インシデント・アクシデントなどの事例を系統的に分析して、その根本原因や影響を与えた因子を同定し、対策を立案・実施することにより類似事例の再発予防を図るプロセスの総称である。様々な分析方法があるが、米国退役軍人省患者安全センターVA-NCPSで開発された医療用RCAを指して「RCA」と呼ぶことが多い。VA-NCPSのRCAでは、①おきた事象を時間経過にそって分解し「出来事流れ図」を作成する、②各出来事に対して「なぜそうなったか？」と疑問を投げかけ、その回答に対してさらに「なぜ？」を繰り返す「なぜなぜ分析」を行う、③根本原因の候補（「なぜ？」の末端の回答）と事例発生との因果関係を明らかにするための「因果関係図」を作成し根本原因を確定する、④根本原因に対する対策を立案する、という手順で作業を行う。なぜなぜ分析から根本原因を導く過程では、個人の行動を非難せずにシステムの問題に焦点を当てることが重要である。自由度が高い反面、分析が偏る危険もあり、多面的な分析を行うためには、多職種の参加やTriage Cardsと呼ばれる質問集を利用することが望ましい。根本原因の「根本」は「主要」という意味ではなく、「木の根」のように枝分かれして因果関係が広がっていくことを示している。

〈関連用語〉

ヒューマンエラー、Medical SAFER (Systematic Approach For Error Reduction)、FMEA (Failure Modes and Effects Analysis)

(国立病院機構横浜医療センター 麻酔科部長・医療安全管理室室長補佐 菊地龍明) 本誌63pに記載